

3月29日：GDPのデータを受けて警戒感が高まる

ベトナム株はまちまちの動きだったが、続伸した。第1四半期のGDP成長率が緩やかだったことを受けて投資家は警戒感を高めている。

ホーチミン取引所のVN指数は2.04ポイント（0.19%）高の1,056.33ポイントで取引を終えた。

指数は上昇したが、多くの銘柄が下落しており、上昇は大型株によってもたらされた。

128銘柄が上昇したのに対して、176銘柄が下落していた。

流動性も大きく低下した。ホーチミン市場の売買代金は26%減の8.3兆ドン、出来高は29%減の4.6億株だった。

大型株で構成されるVN30指数は0.25%（2.63ポイント）高の1,061.45ポイントで取引を終えた。14銘柄の上昇に対して14銘柄が下落していた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.17ポイント（0.08%）安の205.59ポイントで取引を終えた。

出来高は5,800万株、売買代金は8,007億ドンほどだった。

上昇を牽引したのは銀行セクターだった。昨日同様に社債に関する規制の修正案を受けてだった。

ベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、軍隊商業銀行（MBB）、BIDV（BID）は0.43-1.67%高となった。

マサングループ（MSN）、ビナミルク（VNM）、ホアファットグループ（HPG）も0.48-1.55%高となっている。

一方、ペトロベトナムガス（GAS）は0.87%安、VPバンク（VPB）は0.48%安となり相場を押し下げた。

投資家はGDPのデータを受けて警戒感を高めている。第1四半期のGDP成長率は3.32%となり、緩やかな伸びにとどまった。

外国人投資家は売り越しに転じた。ホーチミン市場では 2,081 億ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。